

各位

株式会社富山第一銀行

旭産業株式会社との  
「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

株式会社富山第一銀行（頭取 野村 充）は、旭産業株式会社（代表取締役 平野 平幸）を評価対象とした「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

本サービスを通じて、取引先の企業活動における環境・社会・経済の3つの側面に対して、インパクトを包括的に特定・分析し、ポジティブインパクトが期待できる活動と、ネガティブインパクトを低減する活動を支援いたします。

今後も、お客さまに「寄り添う」銀行として、持続可能な社会の実現に向けた企業活動を通じたSDGsの達成に寄与することで、さらなる信認につなげます。

## 記

## 1. 商品概要

本商品は、企業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ並びにネガティブな影響をポジティブインパクト金融原則に基づき特定し、ポジティブインパクト（プラスの影響）を拡大、ネガティブインパクト（マイナスの影響）を緩和することでSDGs達成を目指すファイナンスの取組です。当行は、インパクトに対する企業活動の影響・取組を包括的に分析・評価を行います。これらのインパクトに対するKPI（重要業績評価指標）についてお客さまとともに設定し、達成状況や取組状況について、定期的にモニタリングし、達成に向けて支援を行ってまいります。客観性を保つため当行が実施した評価について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

## 2. 融資概要


契約締結日	2023年5月31日
借入人	旭産業株式会社
融資金額	1億円
資金使途	運転資金
モニタリング期間	5年

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記URLをご参照ください。  
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

## 3. 評価企業概要 旭産業株式会社

代表者	代表取締役 平野 平幸
本社所在地	富山県富山市水橋伊勢屋327
事業内容	自動車用エンジン・トランスミッション等の構成部品及び汎用軸受部品のプレス加工及び機械加工
設立年月日	1967年5月31日

## 4. SDGs達成に向けた取組事例（詳細は評価書をご参照ください）

取組内容	高品質な製品提供体制の維持・向上
インパクトの種類	社会面におけるポジティブ・インパクトの拡大 経済面におけるポジティブ・インパクトの拡大
インパクト・カテゴリ	「移動手段」 「包括的で健全な経済」
関連SDGs	 
対応方針	高品質かつ安定的な製品の供給 自動車、産業機械、建設機械に関連する製品の取扱品目数拡大
毎年モニタリングする目標とKPI	ISO9001の認証維持（毎年：2023年～2028年）



旭産業株式会社

代表取締役 平野 平幸氏

株式会社富山第一銀行

ニューセンター支店長 砂原 学

【本件に関する問い合わせ先】

法人事業部：西林

TEL 076-461-3871

# ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

評価対象企業 : **Asahi** 旭産業株式会社  
Asahi INDUSTRY CO.,LTD

2023年5月31日

株式会社 富山第一銀行

1. はじめに. . . . .	2
2. 会社概要. . . . .	3
(1) 企業概要・ビジョン	
(2) 沿革	
(3) バリューチェーン	
(4) 組織図	
3. 事業内容. . . . .	7
(1) 本社工場	
(2) 滑川工場	
(3) 保有設備	
4. 品質管理・環境管理. . . . .	11
(1) 品質環境マネジメントシステム／(2) 品質方針	
(3) 環境理念・環境方針	
(4) CO2排出量の把握・削減	
(5) 環境負荷低減に向けた取組み	
5. 次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく行動計画. . . . .	15
6. 地域貢献活動. . . . .	16
7. SDGs宣言. . . . .	17
8. インパクトの特定. . . . .	18
(1) インパクトレーダーによるマッピング	
(2) インパクトカテゴリーに対応するSDGsゴール／(3) 日本におけるインパクトニーズの確認	
(4) インパクトの特定／(5) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認	
9. KPIの設定. . . . .	24
10. 管理体制とモニタリング. . . . .	26

## 1. はじめに

富山第一銀行は、旭産業株式会社に対してポジティブ・インパクトファイナンスを実施するにあたって、同社の企業活動が、環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響及びネガティブな影響）を分析・評価した。

分析・評価にあたっては、株式会社格付投資情報センターの協力を得て、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」およびESG金融ハイレベル・パネル設置要領第2項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的な考え方」に則った上で、旭産業株式会社の企業活動における包括的なインパクトを分析した。

富山第一銀行は、本評価書で特定されたポジティブ・インパクトの拡大とネガティブ・インパクトの緩和に向けた取組みを支援するため、旭産業株式会社に対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行する。

資金調達者の名称	旭産業株式会社
所在地	富山県富山市水橋伊勢屋327
従業員数	140名（令和5年3月末時点）
事業内容	自動車用エンジン・トランスミッション等の構成部品及び汎用軸受部品のプレス加工及び機械加工
調達金額	100,000,000円
調達形態	証書貸付金
資金使途	運転資金
契約期間（モニタリング期間）	2023年5月31日～2028年5月31日

## 2. 会社概要：（1）企業概要・ビジョン

### （1）企業概要・ビジョン

社名	旭産業株式会社
代表者	平野 平幸
本社	富山県富山市水橋伊勢屋237
設立年月日	1967年（昭和42年）5月31日
事業内容	自動車用エンジン・トランスミッション等構成部品及び汎用軸受部品のプレス加工及び機械加工
資本金	50百万円
売上高	3,808百万円（令和5年3月期ベース）
従業員	140名（令和5年3月末時点）
工場	本社工場：富山県富山市水橋伊勢屋237 滑川工場：富山県滑川市上島1192



本社工場



滑川工場

誠意を持って良い品 製品づくりを  
私たちは、オンリーワンのプレス加工技術で  
世界のものづくりに貢献しています。

## 2. 会社概要：（2）沿革

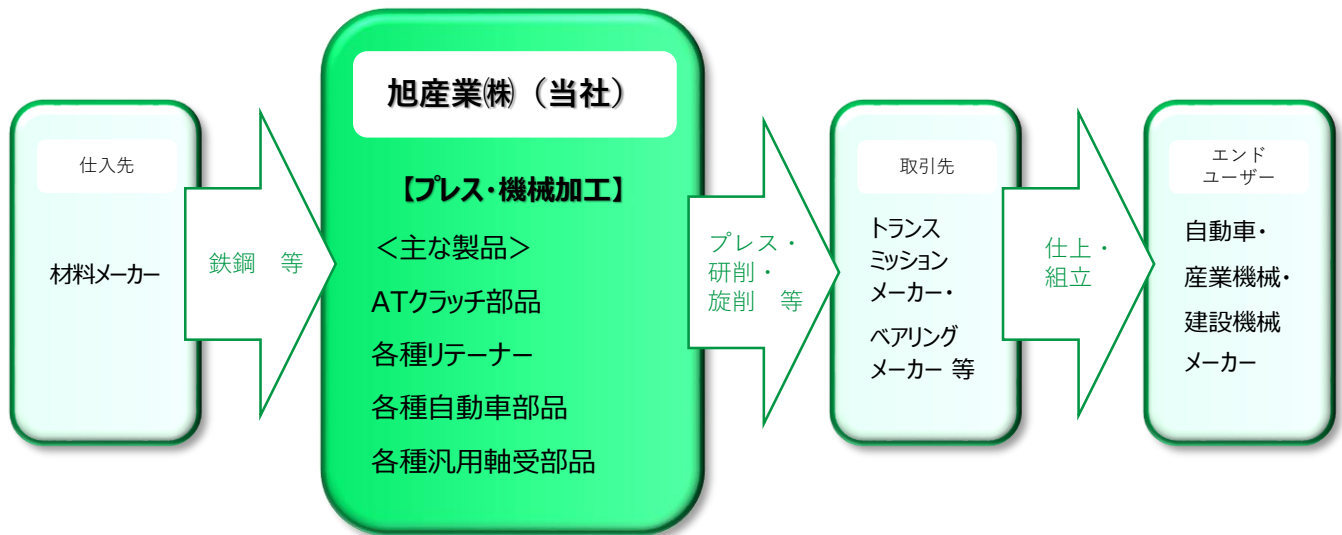
### （2）沿革

年月	概要
1943年	平野製作所として個人創業
1949年	有限会社旭産業製作所設立
1959年	旭産業株式会社へ改組
1967年	ヒラノ機工株式会社（現滑川工場）設立
1971年	富山市第三機械工業センター内に工場建設（現本社工場）
1978年	本社を現在地に移転
1998年	ヒラノ機工株式会社と合併
2003年	品質管理国際規格 ISO9001認証取得
2005年	環境国際規格 ISO14001認証取得
2016年	滑川工場G2等完成
2021年	滑川第二工場操業開始



## 2. 会社概要： (3) バリューチェーン

### (3) バリューチェーン



#### <事業概要>

- ・自動車用エンジン、トランスミッション等の構成部品及び汎用軸受部品のプレス加工及び機械加工を行う。材料調達からプレス・研削・旋削までの一貫生産体制の構築等により、様々な顧客ニーズに対応している。
- ・日本でも数少ない薄物軸受部品の製造や抜き絞りの技術力を活かしたオンリーワンのプレス加工技術、顧客に良品を安定的に供給できる徹底した品質管理体制が当社の強みであり、取引先である大手メーカーより品質優秀賞を受賞するなど、サプライヤーとしての信頼を獲得してきた。
- ・精密加工部品の高精度化・多様化が進む中、当社は取引先からの要求に応え続けるため、積極的に技術革新に取り組んでいる。今後も引き続き、自動車、産業機械、建設機械に関連する製品の安定供給及び受注拡大に向けて、社員全員で取り組んでいく。

#### ATクラッチ部品



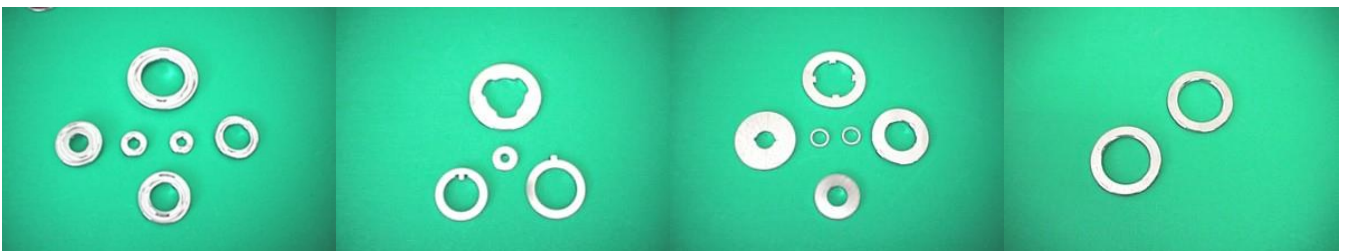
用途：AT部品

#### 各種リテーナー（高負荷容量保持器、球面保持器、ニードルリテーナー）



用途：軸受部品

#### 各種軸受部品（スラスト玉軸受部品、スラスト針状コロ軸受部品、スラスト針状軸受部品、円筒コロ軸受部品）

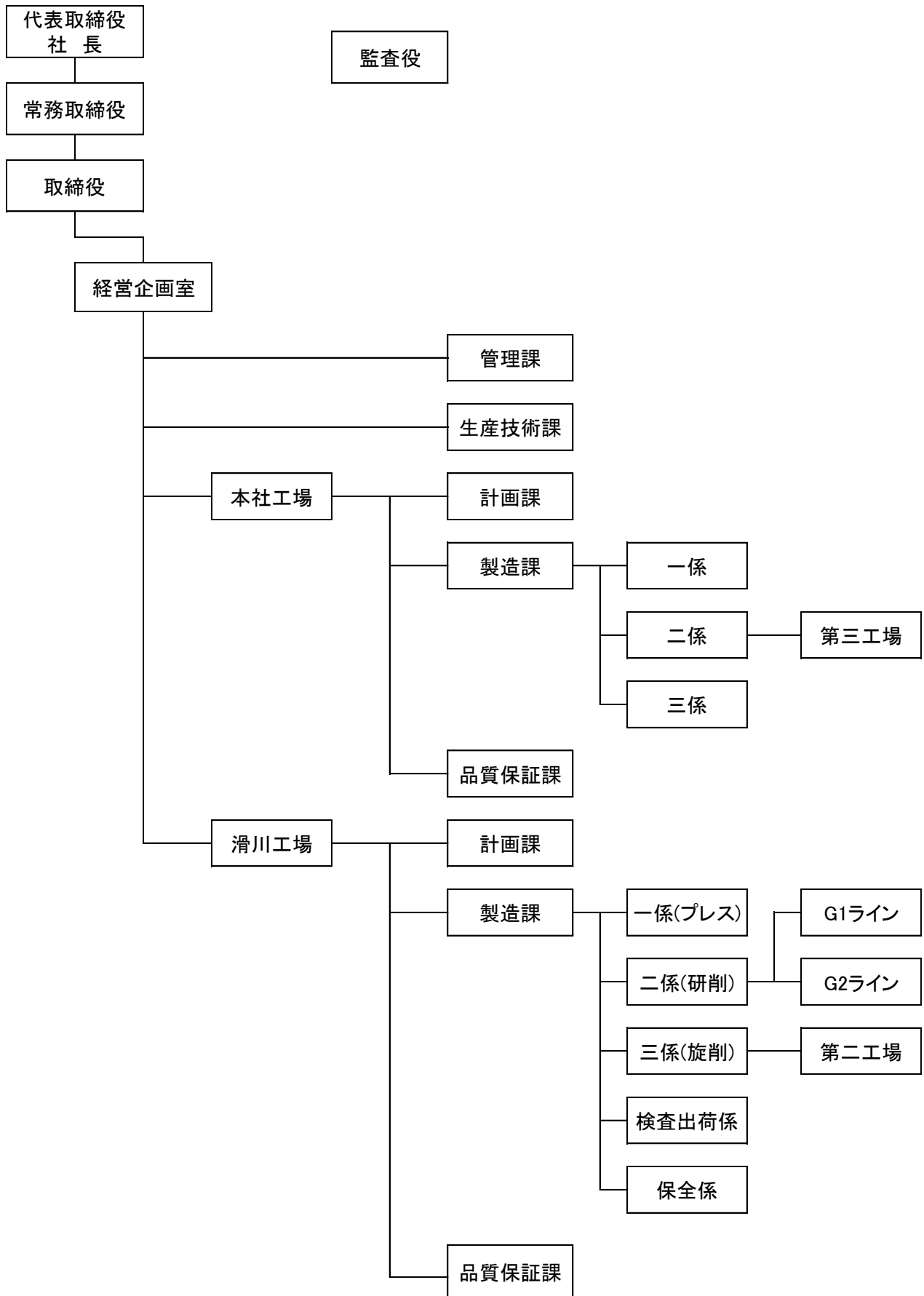


用途：一般機械・自動車、カーエアコン、建設機械、油圧部品



## 2. 会社概要：（4）組織図

### （4）組織図



### 3. 事業内容：（1）本社工場

#### （1）本社工場

- ・最新鋭の大型プレス機、加工ロボット等を導入。抜き绞りを得意とし、自動車用トランスミッション部品、軸受部品、保持器等を一貫製造加工している。

#### <ATクラッチ部品生産ライン>



3台の大型順送プレス（600t・400t・300t）を使用し、短時間での大量生産を実現。

#### <高負荷容量保持器生産ライン>



3Dロボットビジョンシステムの導入など、当該製造ライントータルでの省人化を実現。



#### <ニードルリテーナー生産ライン>



ローリング・両端加工・窓抜きの各工程において多台持ちを実現することで、作業効率化を図っている。

### 3. 事業内容：（2）滑川工場

#### （2）滑川工場

- ・材料調達からプレス、研削、旋削までの一貫生産体制を強みとし、自動車部品・汎用軸受部品等を製造している。

##### <プレス工程>



板材からの打抜き加工により軸受部品を製造できる企業は少なく、当該工程の採用により柔軟に多品種・小ロット製品に対応。

##### <研削工程>



当社では非熱処理品・熱処理品の混在を防ぐため、製品に応じて工場建屋自体を分け機械設備を設置。

##### <旋削工程>



単能盤を連結してライン化することにより、複数の加工を連続して対応。

##### <検査>



打音検査機、画像検査装置導入により目視検査作業の自動化を図っている。



### 3. 事業内容： (3) 保有設備

#### (3) 保有設備

<本社工場>

#### プレス機械：30台

600t	1台
500t油圧	1台
400tリンクモーション	1台
300t順送り	1台
300tリンクモーション	1台
200tハイフレックス	1台
200tC型	1台
150t～5t	23台



600t



500t油圧



400tリンクモーション



高負荷容量保持器ロボットライン

#### ニードルリテーナー量産ライン

ローリング機	4台
両端加工機	4台
ストップピン型窓抜き機	4台
パーツフィーダー型窓抜き機	4台



#### 検査装置他

NC形彫放電加工機	1台
NCフライス盤	1台
NC精密平面研削盤	1台
CADシステム	2台
表面粗さ・輪郭形状測定器	1台
真円度測定器	1台
工具顕微鏡	1台
万能投影機	1台
ハンガーショット機	1台



NC精密平面研削機



ハンガーショット機

### 3. 事業内容：(3) 保有設備

<滑川工場>

#### プレス機械：14台

500t	2台
400t	2台
220t	2台
200t	1台
150t	2台
100t以下	5台



500tプレス



500tプレス

#### 研削・研磨機械：15台

##### ■G1棟

##### 横型両頭研削盤

30インチスルーフィードタイプ 6台

縦型両頭研削盤 25インチ 1台

##### ■G2棟

縦型両頭研削盤 25インチ 3台

##### 横型両頭研削盤

30インチスルーフィードタイプ 2台

14インチスルーフィードタイプ 1台

縦軸平面研削盤 1台

芯無研削盤 20インチ 1台



生研磨



仕上研磨

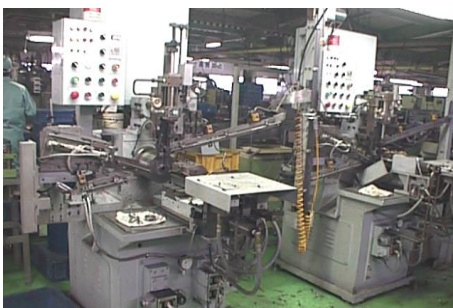
#### 旋削：102台

油圧単能盤 86台

NC単能盤 6台

NC旋盤 3台

普通旋盤 7台



旋削ライン



旋削ライン

#### 検査装置他

硬さ選別機 2台

硬さ試験機 2台

割れ選別機 2台

表面粗さ測定器 2台

輪郭形状測定器 4台

画像処理機 1台



割れ選別機及び硬さ(ECT)選別機

#### 4. 品質管理・環境管理：（1）品質環境マネジメントシステム / （2）品質方針

##### （1）品質環境マネジメントシステム

	ISO9001	ISO14001
	 ISO 9001:2015 認証取得 ISO 14001:2015 認証取得	
適用事業者	旭産業株式会社	
適用事業所	本社工場 本社第三工場 滑川工場	
適用規格	ISO9001:2015	ISO14001:2015
適用範囲	自動車用エンジン、トランスミッション等の構成部品及び汎用軸受用部品のプレス加工及び機械加工	
審査機関	インターテック・サーティフィケーション株式会社	
認証取得日	2003年5月29日	2005年9月1日

##### （2）品質方針

## 品質方針

旭産業株式会社は、「誠意を持って良い品 製品造りを」基本理念とし、世界共通の課題であることを認識し、“全員一丸と成り、顧客満足度を強化、スパイラルUP”する！

以下に基づき、「継続的な改善の概念を導入」推進する。

1. 客先品質問題の撲滅  
「社内不適合品の徹底的な歯止め」
2. 完璧なチェック機能で顧客満足度100%の製品造り  
「QMSの確立・維持向上」

平成14年10月2日

旭産業株式会社

代表取締役社長 平野 平幸



（3）環境理念・環境方針

# 環境理念

旭産業株式会社は、全員一丸と成り企業活動と地球環境との調和を目指し、継続的環境保全に積極的に取り組み、良き企業及び一市民としての社会的責任を果たす努力を行います。

## 旭産業株式会社 環境方針

1. 製品「もの創り」の開発・生産活動及びサービスにおいて環境汚染の防止に努めるとともに、常に創意工夫し環境負荷の継続的改善に努める。特に、“地球環境の保全並びに地域との共生”を企業活動の基本として考働します。
2. 法規制、条例及びその他の要求事項を遵守する事はもとより、必要に応じて自主基準を設け合わせて生産活動の見直し改善で汚染の予防に努めます。
3. この方針を達成するために具体的な環境目的・目標を掲げ、その実施状況を定期的に評価し、見直しを行うように努める。
4. 技術的、経済的な事情を考慮の上、生産活動が環境に与える影響を低減し、更に循環型社会の実現を推進します。  
**（1）省エネルギー （2）省資源 （3）廃棄物の削減**
5. 環境パフォーマンス向上のため、定期的に内部監査・マネジメントレビューを行い、環境管理システムを継続的に改善します。

2005年4月1日  
旭産業株式会社  
代表取締役社長 平野 平幸

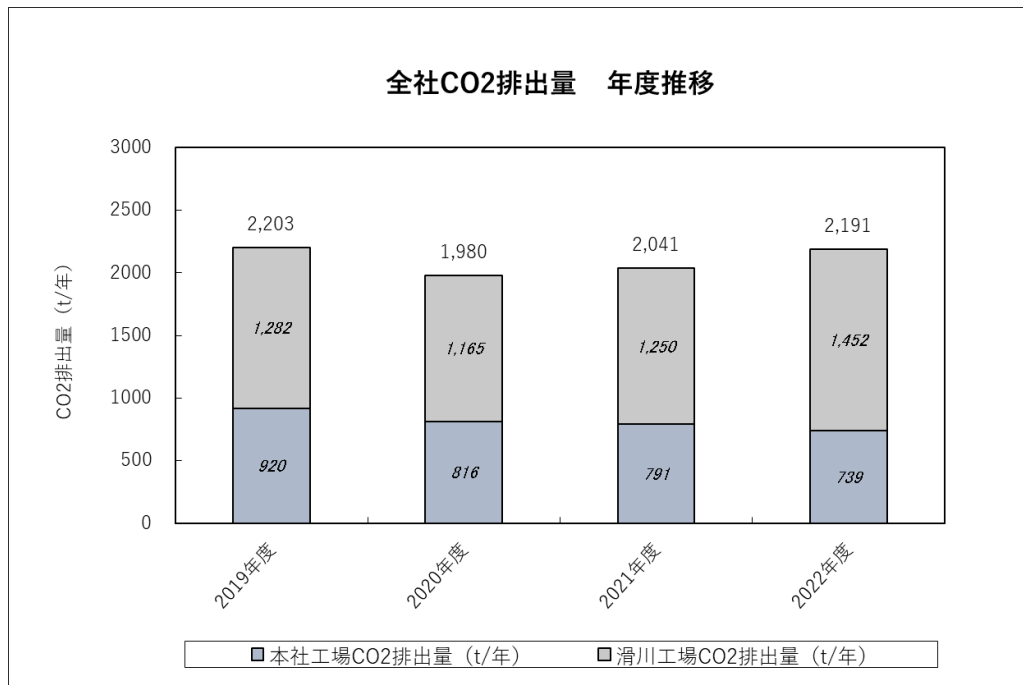


## 4. 品質管理・環境管理：（4）CO2排出量の把握・削減

### （4）CO2排出量の把握・削減

- ・本社工場、滑川工場のCO2排出量を把握し傾向を分析するとともに、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用により、2030年度迄に2019年度（コロナ禍以前）対比で排出量30%程度の削減を目指す。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
本社工場CO2排出量 (t/年)	920	816	791	739
滑川工場CO2排出量 (t/年)	1,282	1,165	1,250	1,452
全社CO2排出量 (t/年)	2,203	1,980	2,041	2,191



**2030年度目標（全社CO2排出量）/1,542 t**

**⇒2019年度対比約30%の削減**

## 4. 品質管理・環境管理：（5）環境負荷低減に向けた取組み

### （5）環境負荷低減に向けた取組み

- ・製品の更なる品質向上を目指すとともに、工場における環境負荷低減に資する取組みを徹底する。

#### <ブリケットマシンの導入>



研削液に混ざっている砥石の粉末・鉄粉から水分を除去し、ブリケットマシンで固形化し再資源化。

砥石の粉末・鉄粉を含んだ研削液はそのまま処分すると産業廃棄物となるが、この装置により再資源化が図られる。

#### <LED照明への入替>



工場内の水銀灯・蛍光灯をLED照明に更新することで、CO2排出量の削減を図る。

#### <再生可能エネルギーへの取組み>



滑川工場G2棟屋上に自家消費型太陽光発電設備を設置。自社内で再生可能エネルギーの利活用を図る。

## 5. 次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく行動計画

### 次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく行動計画

- ・「一般事業主行動計画」を公表し、子育てをしている労働者の職業生活と家庭生活との両立を支援するための雇用環境の整備等に積極的に取り組む。

#### 次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく 旭産業株式会社 行動計画

両立支援制度を充実させ、誰もが個々の能力を十分に発揮できる雇用環境の整備を行うため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間：令和5年4月1日～令和8年3月31日

#### 2. 計画

##### 【次世代育成支援対策推進法】

目標1：令和6年3月までに所定外労働を削減するため、ノー残業デーを設定、実施する。

〈対策〉

- 令和5年 4月～ 制度導入について検討
- 令和5年 10月～ 部署毎に問題点の検討
- 令和6年 1月～ ノー残業デーの実施  
管理職への研修（年1回）及び事業所内掲示などによる社員への周知（毎月）

目標2：妊娠中や産休・育休復帰後の女性従業員のための相談窓口を設置する

〈対策〉

- 令和5年 4月～ 相談窓口の設置について検討
- 令和5年 7月～ 相談員の研修
- 令和5年 10月～ 相談窓口の設置について従業員への周知

目標3：育児休業等を取得しやすい環境作りのため、管理職への研修を年1回以上行う

〈対策〉

- 令和5年 4月～ 管理職へのアンケート調査による実態把握
- 令和5年 7月～ 研修内容の検討
- 令和5年 10月～ 研修の実施

##### 【女性活躍推進法】

目標4：労働者の一月当たりの平均残業時間を10.00時間以下とする

〈対策〉

- 令和5年 4月～ 自社におけるワーク・ライフ・バランス推進方針について経営トップからアピールする
- 令和5年 7月～ 課題に基づき、職場環境の改善に取り組む
- 令和5年 10月～ 残業削減のため職場における業務削減の取組を実施する

##### 【女性の活躍の現状に関する情報公表】

労働者の一月当たりの平均残業時間 10.15時間（令和5年3月10日現在）

掲載日 令和5年3月31日

## 6.地域貢献活動

### 地域貢献活動

- ・地域に根差す企業として、地域活性化に繋がる活動を積極的に展開していく。

#### <教育機関への物品贈呈式>



寄贈型私募債を発行し、手数料の優遇金額分で地元の小学校・中学校に物品を寄贈（辞典、テレビ等）。

## SDGs宣言

- ・SDGs宣言を行い、国連が提唱する「持続可能な開発目標」を推進し持続可能な社会の実現に向け全社一丸となって取り組んでいく。



# 旭産業 株式会社 SDGs宣言

誠意を持って良い品 製品づくりを

この経営理念に基づき、国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」を推進し持続可能な社会の実現に努めてまいります。

### SDGs達成に向けた取り組み

重点課題	具体的な取り組み	SDGs
製品・サービス	<p style="text-align: center;"><b>品質・安全性</b></p> <p><b>目標：オンリーワンのプレス加工技術で世界のものづくりに貢献</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ISO9001」の認証継続による、高品質な製品提供体制の維持・向上</li> <li>・積極的に技術革新を進め、高精度化・多様化する精密加工部品の品質向上に絶えず取り組む</li> </ul>	 
環境	<p style="text-align: center;"><b>環境マネジメント</b></p> <p><b>目標：環境負荷軽減への取り組み強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ISO14001」の認証継続による、製造拠点における環境配慮の徹底</li> <li>・カーボンニュートラルの実現に向けた、CO2排出量の管理及び削減の徹底</li> </ul>	  
人権・労働	<p style="text-align: center;"><b>ワークライフバランス</b></p> <p><b>目標：働きやすい職場環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般事業主行動計画に基づく、子育て世代の職業生活と家庭生活の両立支援</li> <li>・「健康経営優良法人」の認定取得に向けた取り組み</li> </ul>	  
社会・地域貢献	<p style="text-align: center;"><b>社会貢献活動</b></p> <p><b>目標：事業活動を通じた地域社会への貢献</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育施設への寄付活動</li> <li>・多様な地元人財の就業支援</li> <li>・地元業者との連携強化</li> </ul>	 





## 8.インパクトの特定：（1）インパクトレーダーによるマッピング

### （1）インパクトレーダーによるマッピング

株式会社富山第一銀行は、旭産業株式会社のバリューチェーン分析等の結果をもとに、主要・関連業務を特定し、UNEP FIが推奨するインパクトマッピングを実施し、ポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。旭産業株式会社は多岐に亘るため、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「◆◆」は重要な影響があるカテゴリー、「◆」は影響があるカテゴリーを示しており、旭産業株式会社の事業活動における「◆◆」「◆」の影響を検討する。

■ 川上の事業		川上の事業			
		【2410】		【2420】	
国際産業標準分類		第一次鉄鋼製造業		第一次金属・その他非鉄金属製造業	
インパクトカテゴリー		Positive	Negative	Positive	Negative
社会	水（入手）				
	食糧				
	住居	◆			
	健康・衛生		◆		
	教育				
	雇用	◆	◆	◆	◆
	エネルギー				
	移動手段				
	情報			◆	
	文化・伝統				
	人格と人の安全保障				
	正義・公正				
	強固な制度・平和・安定				
環境	水（質）		◆		◆
	大気		◆		◆
	土壌		◆◆		◆◆
	生物多様性と生態系サービス				
	資源効率・安全性		◆◆		◆◆
	気候		◆		◆
	廃棄物		◆		◆
経済	包括的で健全な経済	◆		◆	
	経済収束				



## 8.インパクトの特定：（1）インパクトレーダーによるマッピング

■ 当社の事業		当社の事業									
		【2591】		【2592】		【2814】		【2822】		【2930】	
国際産業標準分類		金属の鍛造、プレス、打抜き及び圧延成形業並びに粉末冶金業		金属の処理・塗装・機械加工業		軸受け、ギア及び電動・駆動装置製造業		金属成形機械及び工作機械製造業		自動車部品及び付属品製造業	
インパクトカテゴリー		Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
社会	水（入手）										
	食糧										
	住居										
	健康・衛生										
	教育										
	雇用	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	エネルギー										
	移動手段					◆				◆	◆
	情報										
	文化・伝統										
	人格と人の安全保障										
	正義・公正										
	強固な制度・平和・安定										
環境	水（質）		◆		◆		◆		◆		◆
	大気		◆		◆		◆		◆		◆
	土壌						◆		◆		◆
	生物多様性と生態系サービス										
	資源効率・安全性		◆		◆		◆		◆		◆◆
	気候		◆		◆		◆		◆		◆◆
	廃棄物		◆		◆		◆		◆		◆
経済	包括的で健全な経済	◆		◆		◆		◆		◆	
	経済収束									◆	



## 8.インパクトの特定：（1）インパクトレーダーによるマッピング

■ 川下の事業		川下の事業									
		【2814】		【2822】		【2824】		【2910】		【3020】	
国際産業標準分類		軸受け、ギア及び 電動・駆動装置製造業		金属成形機械及び 工作機械製造業		鉱業・採石業及び 建設業用機械製造業		自動車製造業		鉄道機関車及び 車両製造業	
インパクトカテゴリー		Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
社会	水（入手）								◆◆		
	食糧										
	住居					◆					
	健康・衛生								◆◆		◆◆
	教育										
	雇用	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	エネルギー										
	移動手段	◆							◆◆	◆	◆◆
	情報										
	文化・伝統										
	人格と人の安全保障										
	正義・公正										
	強固な制度・平和・安定										
環境	水（質）		◆		◆		◆		◆		◆
	大気		◆		◆		◆		◆		◆
	土壌		◆		◆		◆		◆		◆
	生物多様性と生態系サービス										
	資源効率・安全性		◆		◆		◆		◆◆		◆
	気候		◆		◆		◆		◆◆		◆
	廃棄物		◆		◆		◆		◆		◆
経済	包括的で健全な経済	◆		◆		◆		◆		◆	
	経済収束							◆		◆	

## 8.インパクトの特定：（1）インパクトレーダーによるマッピング

当社は鋼材等を仕入れ、プレス・研削・旋削によるATクラッチ部品や軸受部品の製造・加工を行い、トランスミッションメーカーやベアリングメーカーに納入している。

当社のバリューチェーン分析から、「第一次鉄鋼製造業」「第一次金属・その他非鉄金属製造業」「金属の鍛造、プレス、打抜き及び圧延成形業並びに粉末冶金業」「金属の処理・塗装・機械加工業」「軸受け・ギア及び電動・駆動装置製造業」「金属成形機械及び工作機械製造業」「自動車部品及び付属品製造業」「鉱業・採石業及び建設業用機械製造業」「自動車製造業」「鉄道機関車及び車両製造業」に対応するインパクトカテゴリーの影響度の検討を行う。

インパクトマッピングにおいて特に影響が大きいと考えられるインパクトカテゴリーは、ポジティブでは「移動手段」、ネガティブでは「水（入手）」「健康・衛生」「土壌」「資源効率・安全性」「気候」が挙げられた。一定の影響があると考えられるインパクトカテゴリーは、ポジティブでは「住居」「雇用」「情報」「包括的で健全な経済」「経済収束」、ネガティブでは「雇用」「移動手段」「水（質）」「大気」「廃棄物」が挙げられた。このうち、当社事業と関連性の高いカテゴリーを中心に検討する。

当社が製造・加工するATクラッチ部品や軸受部品は、自動車の製造には欠かせない製品であり、サプライチェーンの中で「移動手段」のポジティブインパクトの増大に貢献している。また、自動車、産業機械、建設機械に関連する製品を幅広く製造しており、取扱品目数の拡大等受注量の維持・向上に取り組んでいることから、「包括的で健全な経済」のポジティブ・インパクトの増大に貢献している。

当社ではSDGs宣言の中でワークライフバランスの充実を掲げ、具体的取組みとして、「一般事業主行動計画」に基づく子育てをしている従業員の職業生活と家庭生活との両立支援や、健康経営に資する取組みを強化するなど、「健康・衛生」「雇用」のポジティブインパクトの増大及びネガティブ・インパクトの抑制に努めている。

製造業の大きな課題として、工場稼働に伴うCO2排出や産業廃棄物の発生等、環境への影響が挙げられる。当社では独自に環境理念・環境方針を掲げ、環境負荷低減に向けた取組みを徹底しており、ISO14001の認証継続、CO2排出量の把握・削減、ブリケットマシン導入による産業廃棄物の再資源化、LED照明への入替、太陽光発電設置による再生可能エネルギーの活用等を通じて、「大気」「土壌」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」のネガティブ・インパクトの抑制に努めている。

## 8.インパクトの特定： (2) インパクトカテゴリーに対応するSDGsゴール (3) 日本におけるインパクトニーズの確認

### (2) インパクトカテゴリーに対応するSDGsゴール

当社の売上高の大半は日本における事業であり、日本のSDGsダッシュボードから同社のインパクトとの関係性について確認する。今回特定したインパクトと関連の高いSDGsのゴールは下記となる。



### (3) 日本におけるインパクトニーズの確認

持続可能な開発ソリューションネットワーク（SDSN）に掲載されている日本のダッシュボードによると、大きな課題が残る項目が「赤色」、重要な課題が残る項目が「橙色」、課題が残るのが「黄色」、目標達成が「緑色」となる。

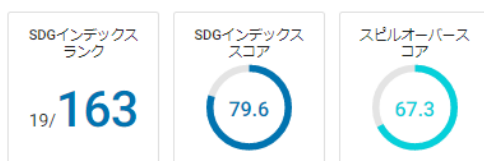
今回特定したインパクトと対応するSDGsのゴール7項目のうち、3項目が大きな課題が残る項目、3項目が課題が残る項目、1項目が目標達成した項目である。日本に課題が残る項目が7項目中6項目該当していることから、日本における同社のインパクトは重要度が高いと判断する。

## 日本

経済協力機構加盟国



概要 指標 政策への取り組み



### SDGダッシュボードとトレンド

目標をクリックすると、詳細情報が表示されます。



ダッシュボード：●目標達成 ●課題は残る ●重要な課題が残る ●残る大きな課題 ●情報がありません

動向：↑SDGsの達成を順調に進めている、または維持している →徐々に改善 →停滞 ↓減少 \*\*トレンド情報は利用できません

## 8.インパクトの特定： (4) インパクトの特定 (5) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認

### (4) インパクトの特定

以上を踏まえ、同社のインパクトを下記のように特定した。

- 高品質な製品提供体制の維持・向上
- 環境負荷低減に向けた取組みの強化
- 働きやすい職場環境の整備

### (5) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認

特定したインパクトと富山第一銀行のサステナビリティ方針と方向性が同じであることを確認する。今回特定したインパクトは「高品質な製品提供体制の維持・向上」「環境負荷低減に向けた取組みの強化」「働きやすい職場環境の整備」である。

富山第一銀行では、サステナビリティ方針のなかで、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」「4.健全な企業経営」の4点を、サステナビリティを巡るマテリアリティ（重点課題）としている。

「高品質な製品提供体制の維持・向上」では「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」という観点で、「環境負荷低減に向けた取組みの強化」では「1.地域経済の持続的な成長」「3.環境保全」という観点で、「働きやすい職場環境の整備」では「4.健全な企業経営」という観点で方向性が一致する。

以上より、本ポジティブ・インパクト・ファイナンスに取り組むことで、環境問題や地域社会・経済を取り巻く課題に対して持続可能な社会の実現に貢献し得る資金の提供が可能となり、本ファイナンスを通じてSDGs達成に向けた取組みの支援を目指す。

## 9.KPIの設定

### ① 高品質な製品提供体制の維持・向上

- ・当社の技術力を活かして製品の品質維持・向上及び取扱品目数拡大に努め、サプライチェーン全体の健全な経済活動に貢献していく。

項目	内容
インパクトの種類	・社会面におけるポジティブ・インパクトの拡大 ・経済面におけるポジティブ・インパクトの拡大
インパクトカテゴリー	・「移動手段」「包括的で健全な経済」
対応方針	・高品質かつ安定的な製品の供給 ・自動車、産業機械、建設機械に関連する製品の取扱品目数拡大
K P I	・ISO9001の認証維持 ※実績開示

### ② 環境負荷低減に向けた取組みの強化

- ・本社工場・滑川工場のCO2排出量の把握及び短期・中期での削減目標を設けるなど、全社をあげて環境負荷低減の徹底に努めていく。

項目	内容
インパクトの種類	・環境面におけるネガティブ・インパクトの抑制
インパクトカテゴリー	・「大気」「土壌」「資源効率・安全」「気候」「廃棄物」
対応方針	・CO2排出量の把握および削減に向けた取組みの強化 ・再生可能エネルギーの活用
K P I	・ISO14001の認証維持 ・2028年5月までにCO2排出量を2019年度（コロナ禍前）対比で24%削減 ※実績開示

## 9.KPIの設定

### ③ 働きやすい職場環境の整備

- ・全従業員がいきいきと働き続けられる職場環境であることが生産活動の根幹と捉え、ワークライフバランスの充実や健康経営に資する取組みをより一層強化していく。

項目	内容
インパクトの種類	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会面におけるポジティブ・インパクトの拡大</li><li>・社会面におけるネガティブ・インパクトの抑制</li></ul>
インパクトカテゴリー	<ul style="list-style-type: none"><li>・「健康・衛生」「雇用」</li></ul>
対応方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・従業員が働きやすいと感じる職場環境の構築</li></ul>
K P I	<ul style="list-style-type: none"><li>・2023年12月までに妊娠中や産休・育休復帰後の女性従業員のための相談窓口を設置</li><li>・2023年12月より育児休業等を取得しやすい環境づくりのため、管理職への研修を年1回以上実施</li><li>・2024年3月までにノー残業デーを設定・実施</li><li>・2028年3月までに「健康経営優良法人」を認定取得</li><li>・2028年5月までに従業員1人当たりの平均残業時間を10時間以下とする</li></ul> <p>※以上、全て実績開示</p>

## 10.管理体制とモニタリング

### ① インパクトの管理体制

当社は、松尾様を中心としてサステナビリティに関する方針・施策の決定や、重要課題（マテリアリティ）の検討、推進、進捗状況のレビューなどを行っている。

本件におけるインパクトについては、管理課が中心となり、管理・達成に向けた施策を実施する。

最高責任者	代表取締役 平野 平幸
管理責任者	課長 松尾 広志
管理部署	管理課

### ② モニタリング方法

本ポジティブインパクトファイナンスで設定したKPIの達成及び進捗状況については、富山第一銀行と当社とで定期的に面談の場を設け、共有する。本面談は、少なくとも年1回実施するほか、日頃の情報交換や営業活動の場等を通じて実施する。

富山第一銀行からは、KPI達成に必要な資金およびその他ノウハウの提供あるいは富山第一銀行の持つネットワークから外部資源とマッチングすることで、KPI達成をサポートする。

モニタリング期間中に達成したKPIに関しては、達成後もその水準を維持していることを確認する。尚、経営環境の変化などにより、KPIを変更する必要がある場合は、富山第一銀行と当社が協議の上、再設定を検討する。

#### 注意事項・免責事項

1. 本評価書は、富山第一銀行が旭産業株式会社から提供された情報や独自に収集した情報に基づく現時点での計画又は状況に対する評価で、将来におけるポジティブな成果を保証するものではありません。
2. 富山第一銀行は、本評価書を利用したことにより発生するいかなる費用または損害について、一切責任を負いません。

#### ● 本件に関するお問い合わせ先

株式会社富山第一銀行

法人事業部 コンサルティングチーム

〒930-8630

富山市西町5番1号（TOYAMAキラリ7F）

TEL (076) 423-3871